

## 日本留学希望者のための MOOC

### 「Studying at Japanese Universities」の開発

#### —MOOC を活用した留学生獲得と留学準備教育の展開—

# The Development of MOOC “Studying at Japanese Universities” for International Students Who Wish to Study at Japanese Universities: International Student Recruitment and Pre-departure Education through MOOC

東京大学大学院情報学環特任研究員 高濱 愛

TAKAHAMA Ai

(Project Researcher, Interfaculty Initiative in Information Studies,  
The University of Tokyo)

東京大学大学総合教育研究センター特任講師 藤本 徹

FUJIMOTO Toru

(Project Assistant Professor, Center for Research and Development of Higher Education,  
The University of Tokyo)

キーワード：MOOC、外国人留学生獲得

#### 1. はじめに

東京大学は、2013年度より日本初の試みとしてMOOC（ムーク Massive Open Online Course：大規模公開オンライン講座）の提供を開始し、世界最大のグローバルMOOCプラットフォームであるCoursera（コーセラ）と、マサチューセッツ工科大学とハーバード大学が共同設立したedX（エデックス）でコースを提供している。グローバルMOOC参加から4年目に入り、東京大学では、留学生獲得と留学準備教育の充実のための活用策として、2016年9月より日本留学希望者を対象としたMOOC「Studying at Japanese Universities（日本の大学で学ぶ）」を開講する。本稿では、このコースの開発の経緯と、コース内容について紹介する。

## 2. 開発の経緯

MOOCは、高等教育レベルの学習機会を、インターネットを利用して、無料で広く一般の人に届けるためのオンライン教育サービスであり（村山・荒・藤本・山内、2014）、2012年に世界の有名大学の協力のもとに登場して以来各界から注目されている。無料で受講可能なオンライン講座であるため、国境を越えて数万人、あるいは数十万人といった大規模な学習者が集まる傾向にあるが、講義の映像のみでなく、学習活動の場として電子掲示板等を使い、他の受講者と共に学習を進められるという点に特徴がある。主要なグローバルMOOCプラットフォームとして知られる、Coursera、edX、FutureLearn（フューチャー・ラーン）への登録者数は約2700万人に達しており、参加パートナーである延べ300以上の大学・機関から配信されているコースは、2600コースを超える規模になっている（表1）。日本の大学においては、東京大学がCourseraに参加し（図1）、東京大学・京都大学・東京工業大学・大阪大学・早稲田大学がedXに、慶應義塾大学がFutureLearnにそれぞれ参加している。また、国内に向けた日本語での地域MOOCプラットフォームとして、JMOC（ジェイムック）が設立され、日本の大学におけるMOOC参入の動きが広がっている。

表1 主要グローバルMOOCプラットフォームの配信状況

名称	開設年月	参加大学/機関数	配信コース数	登録者数
Coursera（米）	2012年4月	140	1580	1700万人
edX（米）	2012年5月	96	919	725万人
FutureLearn（英）	2012年12月	76	160	290万人

（2016年5月現在）

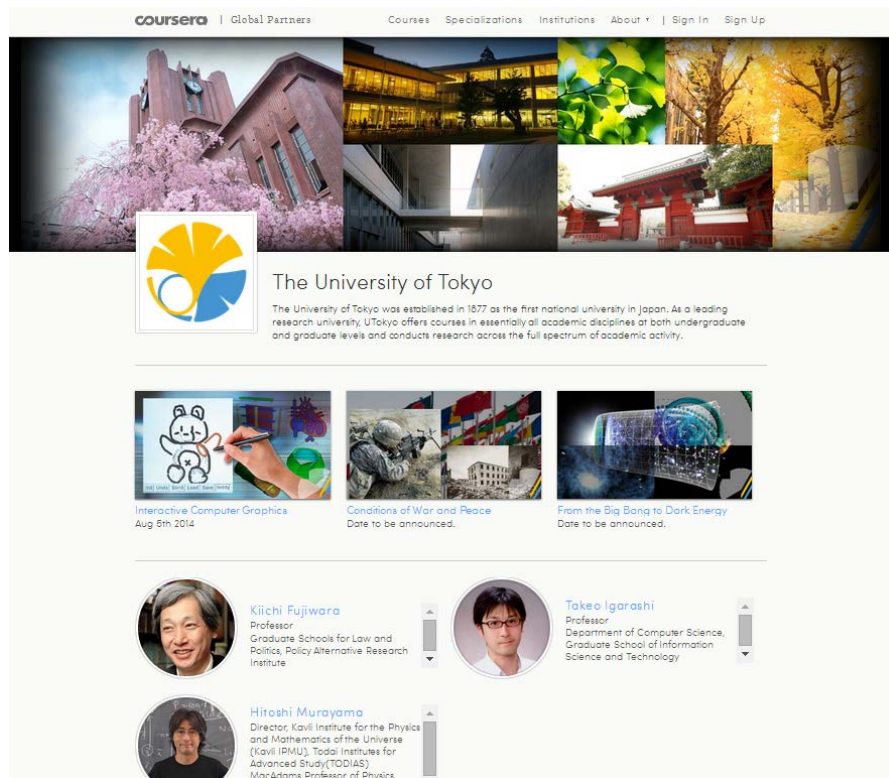


図1 Courseraの東京大学ウェブサイト

MOOCの価値は、配信元となる大学等にとって、世界中に最先端の知を無償で届ける手段であるだけにとどまらない。MOOCで開発したコンテンツを用いた教育改善、人気の高いコースの修了証発行手数料の収益化、国際的なブランド力の向上などの点において成果をあげる大学も現れ始めた（藤本・荒・一色・山内、2015）。加えて近年では、留学生獲得のための広報活動や留学生教育の分野においても取り入れられている。

まず海外では、アメリカ・イギリスなど、いずれも留学生受け入れの実績が豊富な国々の大学や機関が、MOOCを留学生獲得・留学生教育の分野で積極的に活用している（表2）。代表的な事例としては、アメリカ・ペンシルバニア大学が、アメリカ留学に関する情報提供を行うMOOC「Applying to U.S. Universities」をCourseraで配信して海外からの入学希望者増加に貢献した（Tyson、2014）。イギリスではイーストアングリア大学が、留学生のためのスタディスキルを教えるコース等を提供している。総じて、世界のトップ大学や留学関連機関から、語学学習といった留学準備教育の役割を担うコースが幅広く配信されており、それが留学生獲得のための窓口となるように位置づけられている。

表2 留学希望者向けに提供されたMOOCの例

大学・機関名	所在地	コース名（括弧内はプラットフォーム名）	コース概要
University of Pennsylvania	米国	Applying to U.S. Universities (Coursera)	米国大学留学に関する実践的な情報を学び、米国の大学への入学プロセスを理解する
The University of California, Berkeley	米国	English Grammar and Essay Writing (edX)	米国大学進学のためのライティングを学ぶ（米国国務省提携）
University of East Anglia	英国	Study Skills for International Students (FutureLearn)	留学生のためのスタディスキルを学ぶ
University of East Anglia	英国	Preparing for University (FutureLearn)	大学へのスムーズな移行のために必要な鍵となるスキルを開発する
University of Reading	英国	A Beginner's Guide to Writing in English for University Study (FutureLearn)	英語でのアカデミックライティングを入門レベルで学ぶ
British Council	英国	Understanding IELTS: Techniques for English Language Tests (FutureLearn)	IELTSの試験準備を行う

一方、国内に目を転じると、日本の大学等における動きも複数出てきている。例えば、『留学交流』には、edXに参加している大阪大学と、JMOCに参加している国際交流基金の取り組みが紹介されている（近藤、2014；国際交流基金日本語国際センター、2016）。さらに、スーパーグローバル大学創成支援事業の採択校も、その取組概要にMOOCを活用することを明記している（スーパーグローバル大学創成支援（タイプA）京都大学・（タイプB）国際教養大学取組概要）。京都大学は世界から優秀な留学生を受け入れるためにMOOCを配信する方針を示しており、国際教養大学は、世界標準のカリキュラムを実施するためMOOCによる反転授業をスタートさせるとしている。これらのことから、今後日本におい

でも MOOC が、ますます留学生獲得・留学生教育において重要な存在として期待されていることが伺える。しかし、海外向けに MOOC を提供する大学が限られているため、現時点では留学生募集や留学準備を支援することに直結した MOOC は、日本の大学からは提供されていない。

留学生獲得の点から見れば、近年の「留学生 30 万人計画」や「スーパーグローバル大学創成支援事業」といった取り組みを受け、国内の各大学で留学生の数と質とをさらに充実させていくことが求められている。例えば、東京大学の留学生のうち 8 割以上がアジア出身であることや、大学院留学生と比べて学部留学生の割合が低いことは、ダイバーシティの観点からも課題となっている<sup>1</sup>。MOOC により、アフリカや南米といった、日本から地理的に遠い地域の学習者や、学部留学を目指したいと考える比較的若い年齢層の学習者に向けて、日本という国の魅力と共に、日本の大学が提供している豊かな留学のバリエーションを広く直に世界の隅々までアピールすることが可能となる。この点は、留学生 30 万人計画の骨子に示されている「ウェブなどを通じ留学希望者に対し各大学等の情報を発信する（文部科学省・外務省・法務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省、2008、p1）」活動であり、横田（2013）の指摘する、オールジャパンによるインターネットを利用した広報に相当し、「留学先の決定は第一に個別の大学が選ばれるのではなく、まず国が選ばれ、しかる後に大学が選ばれるのである（同書、p1）」という留学先選択の流れに即したものである。特に注目されるのは、従来のインターネットによる広報では発展途上にあつた「フェイス・トゥ・フェイス（同書、p3）」に類似したコミュニケーションを、オンラインコミュニティにより実現していくことが可能な点である。MOOC の学習者コミュニティにおいて、日本留学という共通の興味や関心を持っている受講者同士の交流や、日本で学ぶ外国人留学生による支援が期待される。すなわち、インターネット上のポータルサイト情報（横田、2009）の役割と、留学準備教育および留学関連コミュニティ作りの機能とを融合させたものという位置づけにある。

このような観点から、コース内容の選定にあたっては、以下の 3 点に配慮してコース開発を行った。

- ・ 世界中の日本留学希望者が、留学準備に必要な情報に早い段階から直接アクセスできるようにするための窓口の役割を果たす MOOC を提供する。また、受講者が、留学目的に応じた日本の大学を探せるようになり、日本での留學生活のイメージを持てるようにする。
- ・ 受講者が、日本の大学への留学準備プロセスについて知り、コースを受講しながら自分の具体的な志望動機書や留学計画を作成することができるようになる。従来から、留学ガイド情報は

<sup>1</sup> 日本の留学生総数は、2014 年 5 月 1 日現在約 21 万人であるが、アジア地域からが 92.7%と圧倒的多数を占める（JASSO「平成 27 年度外国人留學生在籍状況調査結果」）。東京大学においては、2016 年 5 月 1 日現在、留學生総数は 3328 名であり、全學生数の 11.75%となっている。その国籍別内訳は、1 位から 4 位までが、中国、韓国、台湾、タイであり、アジアが 80.7%、ヨーロッパが 10.0%、北米が 2.6%、中南米が 2.1%、アフリカが 1.7%、中近東 1.6%、オセアニア 1.2%を占める。所属別では、全學生数に占める比率が、大学院生 20.86%、学部生 2.70%となっている（東京大学公式サイト「国際交流関係統計資料 2016 年（平成 28 年）5 月 1 日現在 外国人留學生数」）。

比較的入手しやすい状態にあるが、それらが留学準備段階から十分に利用されるような仕掛けを作る必要がある。

- ・ 受講者に対して、コースの学習活動に参加しながら、日本留学に関心のある世界中の学習者や日本に留学中の学生と、オンラインコミュニティ等で交流できる機会を提供する。

### 3. 「Studying at Japanese Universities」のコース内容

このコースは、日本留学希望者に、日本の留学プログラムや留学先の選び方等、留学準備に必要な知識を学んでもらうことを主な目的としている。受講者は知識を学習するだけでなく、志望動機書・留学計画を作成することができる。また、学習活動に参加しながら、日本留学に関心のある他の受講者やティーチングアシスタント（TA）等、日本留学中の学生と交流することもできる。

コースの特徴として、日本への留学の魅力とともに、日本の大学が提供する多様な留学プログラムの情報を提供する。そのため、東京大学以外のスーパーグローバル大学創成支援事業採択校や JASSO 等の協力を得て、日本国内の大学全体における留学生獲得に寄与することを目指している。また、既存の留学情報源の利用向上を図り、各大学等において渡日後に行われている留学生オリエンテーション等の教育活動の負担軽減につながる事前学習活動を提供するコースとなるように考慮した。

このコースは、Courseraに登録すれば誰でも無料で受講できる。コース内容は英語で提供しており、学習活動として、受講者は講義ビデオ（図2）の視聴、課題提出（選択式クイズとワークシート）、オンラインフォーラムへの参加によって4週間の学習を進める。コース概要を下記の表に示した（表3）。





図2 「Studying at Japanese Universities」のコースビデオイメージ

表3 「Studying at Japanese Universities」のコース概要

コース名	Studying at Japanese Universities
配信プラットフォーム	Coursera (東大ページ URL: <a href="https://www.coursera.org/utokyo">https://www.coursera.org/utokyo</a> )
使用言語	英語
担当講師	矢口祐人(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 板津木綿子(東京大学大学院総合文化研究科 准教授)
TA	東京大学の現役外国人留学生・研究者計5名をコース運営担当者として採用
留学生協力者	東京大学の現役留学生合計25名が留学体験談を語る留学生として参加
開講時期	2016年9月19日から開講予定(常時受講可能)
受講期間	4週間(1週あたり2時間程度の学習時間)
対象レベル	主に日本の大学(学部)留学を目指す高校生・大学生
受講料	無料(希望者は49米ドルで修了証発行)
参加協力大学	スーパーグローバル大学創成支援事業採択校22大学から協力を得て、各大学の留学プログラムの情報にコースページから受講生がアクセスして情報収集できる形で提供。
参考資料	日本留学ガイドブック「Student Guide to Japan」、日本留学ポータルサイト Gateway to Study in JAPAN(JASSO)、JAPAN STUDY SUPPORT(JPSS)、日本留学総合情報ガイド(Study in Japan Comprehensive Guide)(外務省)等、無料で常時利用可能で、多言語対応している留学ガイド情報を参考資料として参照。
コース構成	1. Your first step to study in Japan 2. Understanding the process 3. Student life in Japan 4. Moving forward

#### 4. おわりに

本稿では、2016年9月に開講する東京大学のMOOC「Studying at Japanese Universities」について、その開発の経緯と、コース内容に焦点を当てて紹介した。本稿執筆の時点では開講準備段階にあり、まだ配信が開始されていない状況である。したがって、続稿で実際の受講者数等の配信開始後の運用状況について報告していきたいと考えている。

最後に、本稿は、東京大学が提供するMOOC「Studying at Japanese Universities」を留学交流の最前線に取り組みされている読者の皆様に紹介し、多くの方に利用していただきたいという趣旨で執筆した。本コースを通して日本国内の各大学における留学交流の一層の充実に貢献できるよう、本コースの開発にかかわったメンバーとして力を尽くしていきたい。

#### [参考文献]

- ブリティッシュカウンシルウェブサイト<<https://www.britishcouncil.jp/>>(2016年8月15日閲覧)
- Coursera ウェブサイト<<https://www.coursera.org/>> (2016年8月15日閲覧)
- edX ウェブサイト<<https://www.edx.org/>> (2016年8月15日閲覧)
- 藤本徹・荒優・一色裕里・山内祐平 (2015) 「MOOC配信による高等教育のグローバル展開の動向。」『日本教育工学会第31回全国大会講演論文集』85-86
- FutureLearn ウェブサイト<<https://www.futurelearn.com/>> (2016年8月15日閲覧)
- JASSO「平成27年度外国人留学生在籍状況調査結果」<[http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_e/2015/index.html](http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2015/index.html)> (2016年8月15日閲覧)
- JASSO 日本留学ガイドブック “Student Guide to Japan” <[http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_j/sgtj.html](http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/sgtj.html)> (2016年8月15日閲覧)
- JMOOC ウェブサイト<<http://www.jmooc.jp/>> (2016年8月12日閲覧)
- 国際交流基金日本語国際センター (2016)「JM00C 日本語講座「Nihongo Starter」の開発と運用」『留学交流』2016年6月号、Vol. 63<[http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2016/\\_icsFiles/afieldfile/2016/06/07/201606japanfoundation.pdf](http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2016/_icsFiles/afieldfile/2016/06/07/201606japanfoundation.pdf)> (2016年8月15日閲覧)
- 近藤佐知彦 (2014)「グローバルアドミッションズオフィスの挑戦-留学生支援としてのA0入試-」『留学交流』2014年12月号、Vol. 45<[http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2014/\\_icsFiles/afieldfile/2015/11/18/201412kondosachihiko.pdf](http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2014/_icsFiles/afieldfile/2015/11/18/201412kondosachihiko.pdf)> (2016年8月15日閲覧)
- 文部科学省・外務省・法務省・厚生労働省・経済産業省・国土交通省 (2008)「留学生30万人計画 骨子」<<http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/rireki/2008/07/29kossi.pdf>> (2016年8月15日閲覧)
- 村山斉・荒優・藤本徹・山内祐平 (2014)「東京大学のMOOC配信の取り組み (ICTと大学)」『IDE :

現代の高等教育』564、pp. 22-29

日本留学ポータルサイト Gateway to Study in JAPAN<<http://www.g-studyinjapan.jasso.go.jp/ja/>>  
(2016年8月15日閲覧)

JAPAN STUDY SUPPORT<<http://www.jpss.jp/ja/>> (2016年8月15日閲覧)

日本留学総合情報ガイド(Study in Japan Comprehensive Guide)<[http://www.studyjapan.go.jp/jp/toj\\_stopj.html](http://www.studyjapan.go.jp/jp/toj_stopj.html)> (2016年8月15日閲覧)

スーパーグローバル大学創成支援(タイプA) 京都大学 取組概要<[http://www.jsps.go.jp/j-sgu/data/torikumigaiyou/h26/sgu\\_h26initiatives\\_a08.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-sgu/data/torikumigaiyou/h26/sgu_h26initiatives_a08.pdf)> (2016年8月12日閲覧)

スーパーグローバル大学創成支援(タイプB) 国際教養大学 取組概要<[http://www.jsps.go.jp/j-sgu/data/torikumigaiyou/h26/sgu\\_h26initiatives\\_b11.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-sgu/data/torikumigaiyou/h26/sgu_h26initiatives_b11.pdf)> (2016年8月12日閲覧)

東京大学公式サイト「大規模公開オンライン講座(MOOC)」<[http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/mooc\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/mooc_j.html)> (2016年8月15日閲覧)

東京大学公式サイト「国際交流関係統計資料 2016年(平成28年)5月1日現在 外国人留学生数」<[http://www.u-tokyo.ac.jp/res03/d03\\_02\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/res03/d03_02_02_j.html)> (2016年8月15日閲覧)

東京大学プレスリリース「東京大学とコーセラ(米国)が大規模公開オンライン講座(MOOC)配信に関する協定を締結(2013/2/22)」<[http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01\\_250222\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01_250222_j.html)>  
(2016年8月15日閲覧)

東京大学プレスリリース「東京大学がハーバード大学・MITと協力したMOOCの展開に向けedX(米国)と大規模公開オンライン講座(MOOC)配信に関する協定を締結(2014/2/18)」<[http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01\\_260218\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01_260218_j.html)> (2016年8月15日閲覧)

東京大学プレスリリース「東京大学のMOOC、新規4コース開講、既存コースを常時開講へ～累計登録者数は21万人を突破～(2015/9/25)」<[http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01\\_270925\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/public/public01_270925_j.html)> (2016年8月15日閲覧)

横田雅弘(2009)「外国人学生の日本留学へのニーズに関する調査研究 2008、2009年度 文部科学省先導的・大学改革推進経費による委託研究」平成21年9月<<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~yokotam/publications%20rp%205.html>> (2016年8月15日閲覧)

横田雅弘(2013)「留学生獲得のための入試広報戦略-オールジャパンと個々の大学の戦略-」『留学交流』2013年12月号、Vol. 33<[http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2013/\\_icsFile/s/afieldfile/2015/11/18/201312yokotamasahiro.pdf](http://www.jasso.go.jp/ryugaku/related/kouryu/2013/_icsFile/s/afieldfile/2015/11/18/201312yokotamasahiro.pdf)> (2016年8月15日閲覧)

Tyson, C. (2014) From MOOC to Shining MOOC. INSIDE HIGHER ED. <<https://www.insidehighered.com/news/2014/06/25/can-moocs-lure-international-students-us-colleges-and-universities>> (2016年8月12日閲覧)